

出席マネージャー11

使い方ガイド2(準備編)

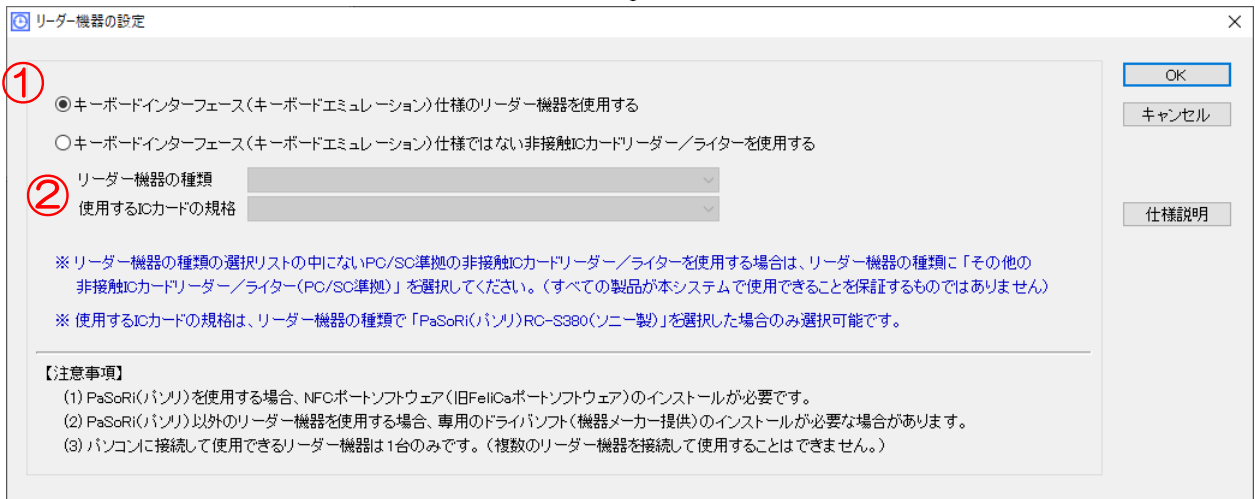
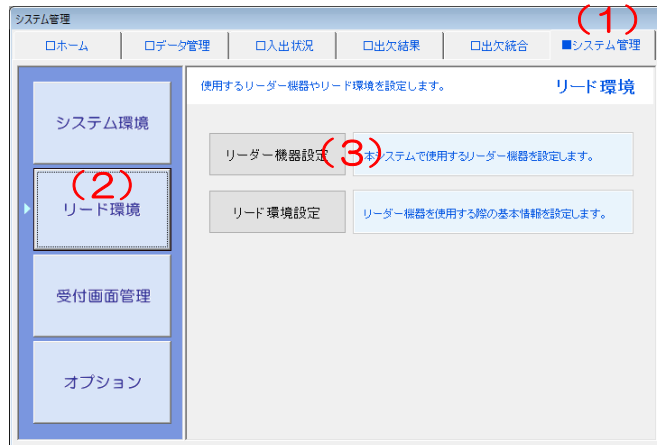
| | |
|-----------------------|---|
| ・リーダー機器の設定 | 1 |
| ・リード環境の設定 | 2 |
| ・受付画面の制御環境設定 | 3 |
| ・受付画面のレイアウト設定 | 4 |
| ・出席管理用データベースの作成 | 5 |
| ・個人フィールド名の設定 | 6 |

リーダー機器の設定

使用するリーダー機器を設定します。

【起動手順】

- (1) システム管理タブ
- ↓
- (2) リード環境メニュー
- ↓
- (3) リーダー機器設定ボタン



① 使用するリーダー機器 ※2タイプから選択

- キーボードインターフェース仕様のリーダー機器
- キーボードインターフェース仕様ではない非接触ICカードリーダー/ライター

② リーダー種類、ICカード規格 ※「非接触ICカードリーダー/ライター」を選択した場合のみ

- リーダー機器の種類 … 非接触ICカードリーダー/ライターの種類を選択します。
- ICカードの規格 …… FelicA (フェリカ)、Mifare (マイフェア) から選択します。

【読み取り内容と個人の識別方法】

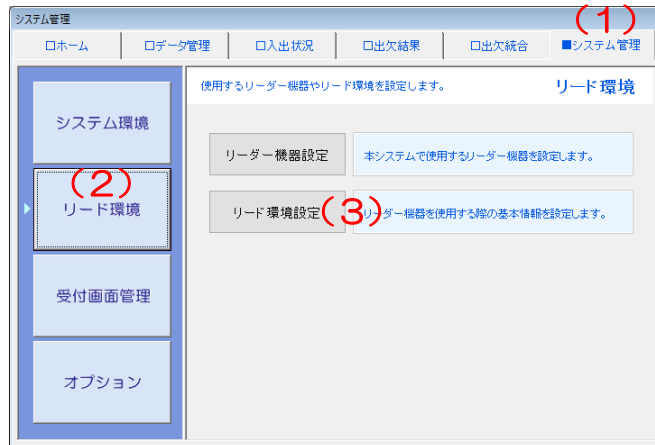
- キーボードインターフェース仕様のリーダー機器を使用する場合
バーコード値、QRコード値、磁気データ値などを読み取って個人を識別します。
- 非接触ICカードリーダー/ライターを使用する場合
ICカード固有ID (IDm、UID) を読み取って個人を識別します。

リード環境の設定

リーダー機器使用時の基本情報を設定します。

【起動手順】

- (1) システム管理タブ
- ↓
- (2) リード環境メニュー
- ↓
- (3) リード環境設定ボタン



The screenshot shows the 'リード環境の設定' (Lead Environment Settings) dialog box. It contains four sections, each with a red circle number:

- ① リード値の取得方法 (全画面の共通情報)
 リーダーで読み取った値の全部をリード値とする(A)
 リーダーで読み取った値の一部をリード値とする(F) [0] 桁目 ~ [0] 桁目
※リード環境(リード値の取得方法)は、キーボードインターフェース(キーボードエミュレーション)仕様のリーダー機器を使用する場合のみ有効です。
- ② タイマー制御 (全画面の共通情報)
重複リード回避 [2] 秒 ※設定した秒数の間、同じ個人IDに対する重複リードを回避します。
- ③ リード値と個人マスタの紐付け方法 (受付画面、リーダーモード画面の共通情報)
 リード値と個人IDを紐付け(N) ※リード値と個人マスタの個人IDを照合して個人を特定します。
 リード値と紐付けキーを紐付け(L) ※リード値と個人マスタの紐付けキーを照合して個人を特定します。
- ④ リード時の効果音 (受付画面の情報) / リード時の効果音 (リーダーモード画面、紐付けモード画面の共通情報)
 正常終了時に効果音を鳴らす(O)
効果音の種類(入) Sound01.wav [再生]
効果音の種類(出) Sound01.wav [再生]
 エラー終了時に効果音を鳴らす(E)
効果音の種類 Sound02.wav [再生]
 リード時に効果音を鳴らす(S)
効果音の種類 Sound01.wav [再生]

※受付画面のリード環境を設定した場合、設定内容が有効になるのは受付システムの再起動後です。
※本画面では、個人マスタのフィールド名がシステム既定の名称で表示されます。

① リード値の取込方法

リーダー機器を使用して読み取った値の、どの部分(何桁目~何桁目)をリード値として取得するかを設定します。

② 重複リード回避タイマー

同じ個人IDに対する重複リードを回避する秒数を設定します。

③ リード値と個人マスタの紐付け方法

リード値と個人マスタのどのフィールドを照合して個人を特定するかを設定します。

④ リード時の効果音

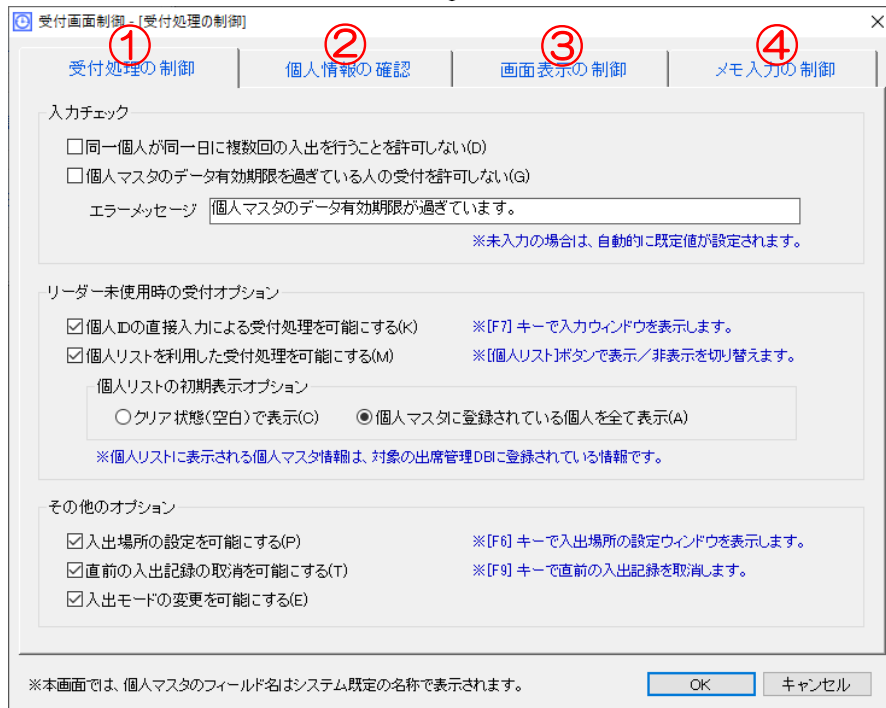
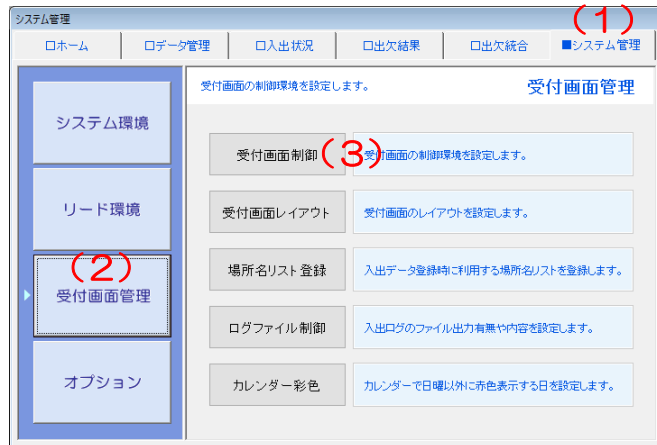
受付処理(入出記録)を行った際のパソコンからの効果音を設定します。

受付画面の制御環境設定

受付画面での読み取り時のチェック有無、リーダー未使用時の受付オプション、受付画面での機能制御などを設定します。

【起動手順】

- (1) システム管理タブ
- ↓
- (2) 受付画面管理メニュー
- ↓
- (3) 受付画面制御ボタン



① 受付処理の制御

受付時のチェック有無、リーダー未使用時の受付オプション、受付画面での機能制御などを設定します。

② 個人情報の確認

受付対象が個人マスタに登録されている場合と、登録されていない場合の制御方法など設定します。

③ 画面表示の制御

各種のタイマー制御、ガイドメッセージなどを設定します。

④ メモ入力の制御

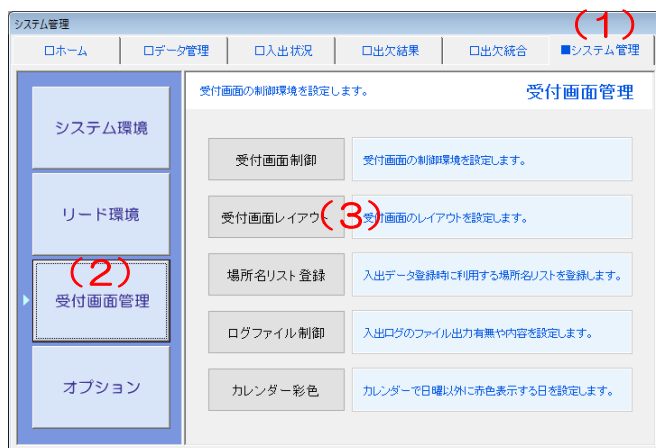
受付時のメモ入力機能の使用方法を設定します。

受付画面のレイアウト設定

受付画面のログ表示フィールドを設定します。

【起動手順】

- (1) システム管理タブ
- ↓
- (2) 受付画面管理メニュー
- ↓
- (3) 受付画面レイアウトボタン



受付画面のレイアウト設定

画面パターン

標準サイズ(画像イメージなし) 標準サイズ(画像イメージあり) 最大サイズ(画像イメージなし) 最大サイズ(画像イメージあり)

※画像イメージは、対応する個人マスタの画像情報をもとに表示されます。

入出力内容

表示フィールド数 ※表示フィールド数までの情報がログ表示されます。

| | 表示内容 | メッセージ内容(入) | メッセージ内容(出) | フォントサイズ | |
|----|-------------|------------|------------|---------|---------|
| 1 | 個人マスタ(個人ID) | | | 18 | 上へ移動(B) |
| 2 | 個人マスタ(氏名) | | | 18 | 下へ移動(A) |
| 3 | 個人マスタ(氏名カナ) | | | 18 | 行挿入(I) |
| 4 | 入出時間 | | | 18 | 行削除(E) |
| 5 | 経過時間 | | | 18 | |
| 6 | 表示なし | | | 18 | |
| 7 | 表示なし | | | 18 | |
| 8 | 表示なし | | | 18 | |
| 9 | 表示なし | | | 18 | |
| 10 | 表示なし | | | 18 | |

■表示内容に「フリーメッセージ」を選択した場合
・入の受付処理時 … 「メッセージ内容(入)」の内容がログ表示されます。
・出の受付処理時 … 「メッセージ内容(出)」の内容がログ表示されます。
例) 表示内容に「フリーフィールド」を選択し、メッセージ内容(入)に「受付しました。」と設定した場合、入の受付を行った際に「受付しました。」とログ表示されます。

■表示内容に「表示なし」、「フリーメッセージ」以外を選択した行のメッセージ内容欄に値を設定した場合
・入の受付処理時 … 表示内容で選択した情報 + 「メッセージ内容(入)」の内容がログ表示されます。
・出の受付処理時 … 表示内容で選択した情報 + 「メッセージ内容(出)」の内容がログ表示されます。
例) 表示内容に「個人マスタ(氏名)」を選択し、メッセージ内容(入)に「 様」と設定した場合、入の受付を行った際に「○○○○ 様」とログ表示されます。 ※○○○○は個人マスタの登録内容です。

※受付画面のレイアウト設定を行った場合、入出力のフィールド高さ、幅は既定値でリセットされます。
※本画面では、個人マスタのフィールド名はシステム既定の名称で表示されます。

① 受付画面のレイアウトパターン

受付画面のレイアウトパターン(画面サイズ、画像イメージ有無)を設定します。

※画像イメージ枠には、個人マスタの「画像ファイル」欄に設定されているファイル名の内容が表示されます。

② 入出力ログの表示フィールド数

入出力ログに表示するフィールド数を設定します。

③ 入出力ログの表示フィールド内容

入出力ログとして表示する項目、表示フォントサイズなどを設定します。

※個人マスタのフィールドを指定した場合は、個人のID情報に対応する個人マスタの内容が表示されます。

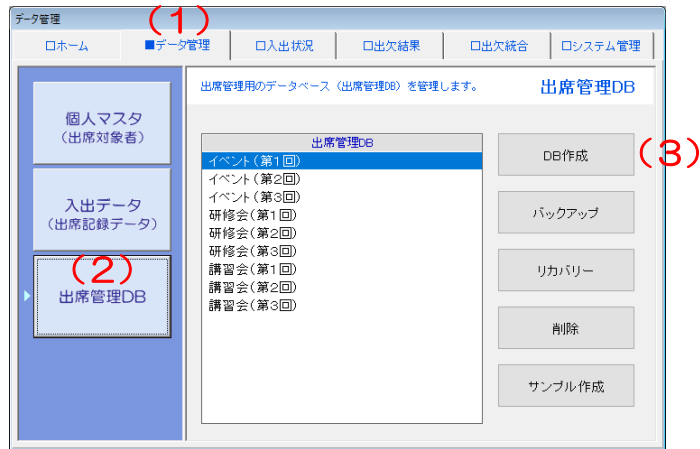
出席管理用データベースの作成

出席管理DBは、出席項目の種類（研修会、イベント、講習など）ごとに作成します。

出席管理対象の個人情報（個人マスタ）や、入出情報（入出データ）は出席管理DBごとに登録して管理します。

【起動手順】

- (1) データ管理タブ
- ↓
- (2) 出席管理DBメニュー
- ↓
- (3) DB作成ボタン



【出席管理DBの作成方法】

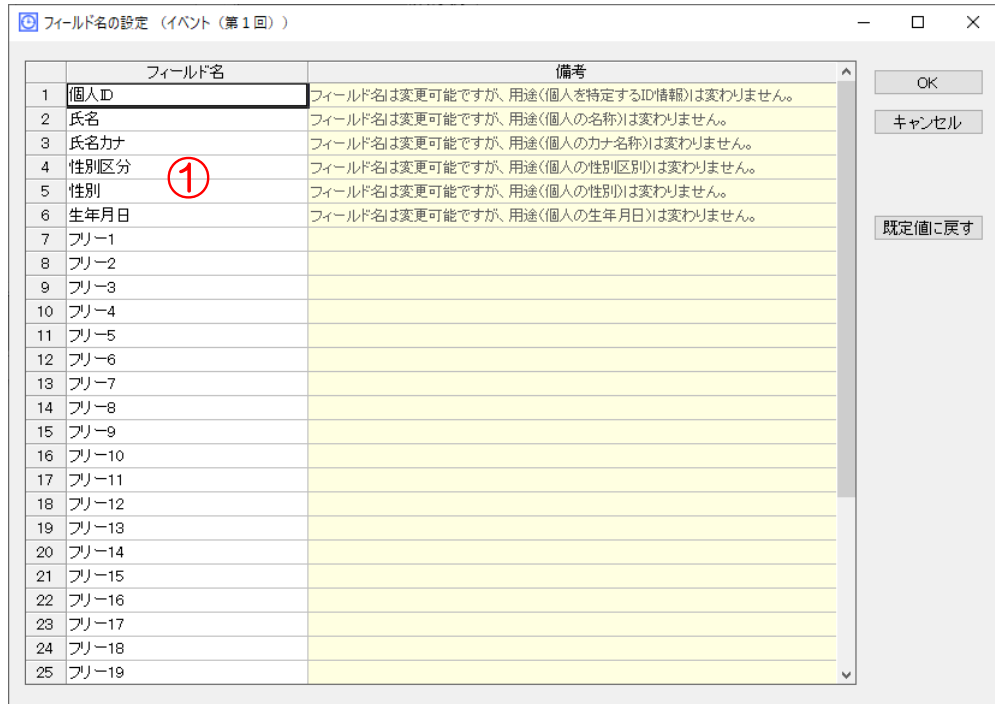
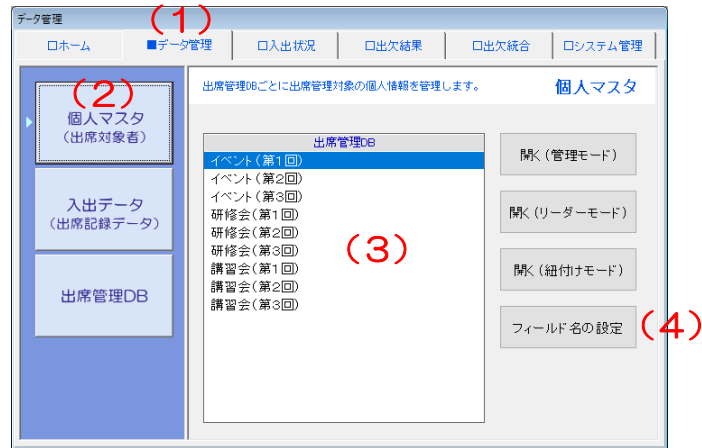
- ① 出席管理DB名を入力します。
- ② 他の出席管理DBから個人マスタ情報（登録データ、フィールド定義名）をコピーして作成するか、しないかを選択します。
- ③ 「作成」ボタンをクリックします。

個人フィールド名の設定

個人マスタのフィールド名を設定します。

【起動手順】

- (1) データ管理タブ
- ↓
- (2) 個人マスタメニュー
- ↓
- (3) 対象データベース選択
- ↓
- (4) フィールド名の設定ボタン



① フィールド名

個人マスタのフィールド名を、全角 15 文字（または半角 30 文字）以内で設定します。

【フリーフィールド】

個人マスタには、既定フィールドの他にフリーのフィールドが 25 個あり、ユーザーが用途にあわせて使用することができます。

フリーフィールドには、全角 25 文字（または半角 50 文字）以内のデータ値を設定することができます。